

かけはし

第7号 平成5年1月8日発行

発行 千代田区教育委員会



全校(園)あげてのもちつき大会(西神田幼・小)

主
な
記
事

◇社会の変化に対応した学校づくり

— 新たな小学校8校・幼稚園8園発足へ —

◇よりよい施設の建設を目指して

— 外神田三丁目複合施設 —

◇個性・特性を発揮して!

(第二学期 連合行事)

園長先生に手伝ってもらって、重い杵をふり上げました。上手につけるかどうかちょっと心配でした。

地域の方の“おそなえ”を作る手つきのあざやかさにも目を見張りました。

*教育広報「かけはし」は資源保護のため再生紙を使用しています。

社会の変化に対応した学校づくり

— 新たな小学校八校・幼稚園八園発足へ —

千代田区立学校設置条例の改正案が第四回区議会定例会で原案どおり可決成立いたしました。これにより、「新たな小学校・幼稚園」は、①平成五年四月一日に発足する②小学校・幼稚園数は各八校・八園とする③小学校・幼稚園の所在地は別表のとおりとする④校・園名について、各地域の協議会からの報告のうち現在の名称をそのまま使用したものについては、教育委員会で「千代田」を冠して別表のとおりとする—などが決まりました。



小学校・幼稚園所在地	通学(園)区域
千代田麹町小学校・幼稚園 麹町2-8	霞が関1, 2, 3丁目、永田町1, 2丁目、隼町、平河町1, 2丁目、麹町1, 2, 3, 4丁目、一番町、二番町(1, 3, 5, 9, 11番地)、皇居外苑、千代田
千代田九段小学校・幼稚園 三番町16番地	三番町、四番町(1, 2, 3, 8, 11番地)、九段南2, 3, 4丁目、九段北3, 4丁目
千代田番町小学校・幼稚園 六番町8番地	麹町5, 6丁目、紀尾井町、二番町(2, 4, 6, 7, 8, 10, 12, 14番地)、四番町(4, 5, 6, 7, 9番地)、五番町、六番町
千代田富士見小学校・幼稚園 富士見1-10-3	北の丸公園、九段南1丁目、九段北1, 2丁目、富士見1, 2丁目、飯田橋1, 2, 3, 4丁目
お茶の水小学校・幼稚園 猿楽町1-1-1	大手町1丁目(4番)、一ツ橋1, 2丁目、神田神保町1, 2, 3丁目、三崎町1, 2, 3丁目、西神田1, 2, 3丁目、猿楽町1, 2丁目、神田駿河台1, 2, 3丁目(1, 3, 5, 7, 9, 11番)、4丁目(1, 3, 5番) 神田錦町1, 2, 3丁目、神田小川町2, 3丁目
千代田小学校・幼稚園 神田司町2-16 (神田東松町22)	丸の内1, 2, 3丁目、大手町1丁目(1-3番、5-9番)、2丁目、内幸町1, 2丁目、有楽町1, 2丁目、日比谷公園、神田美土代町、内神田1, 2, 3丁目、神田司町2丁目、神田多町2丁目、神田須田町1丁目(7, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34番)、2丁目、鍛冶町1, 2丁目、神田鍛冶町3丁目、神田紺屋町、神田北乗物町、神田富山町、神田美倉町、岩本町1丁目(1-6番)、2丁目(1-8番)、3丁目(1, 2番)、神田西福田町、神田東松町、神田東紺屋町、神田岩本町
昌平小学校・幼稚園 外神田3-4-7 (神田淡路町2-15)	神田駿河台3丁目(2, 4, 6番)、4丁目(2, 4, 6番)、神田小川町1丁目、神田淡路町1, 2丁目、神田須田町1丁目(1-6番、8-15番、17, 19, 21, 23, 25番)、外神田1, 2, 3, 4, 5, 6丁目
和泉小学校・幼稚園 神田和泉町1番地	岩本町1丁目(7-14番)、2丁目(9-19番)、3丁目(3-11番)、東神田1, 2, 3丁目、神田和泉町、神田佐久間町1, 2, 3, 4丁目、神田平河町、神田松永町、神田花岡町、神田佐久間河岸、神田練塀町、神田相生町

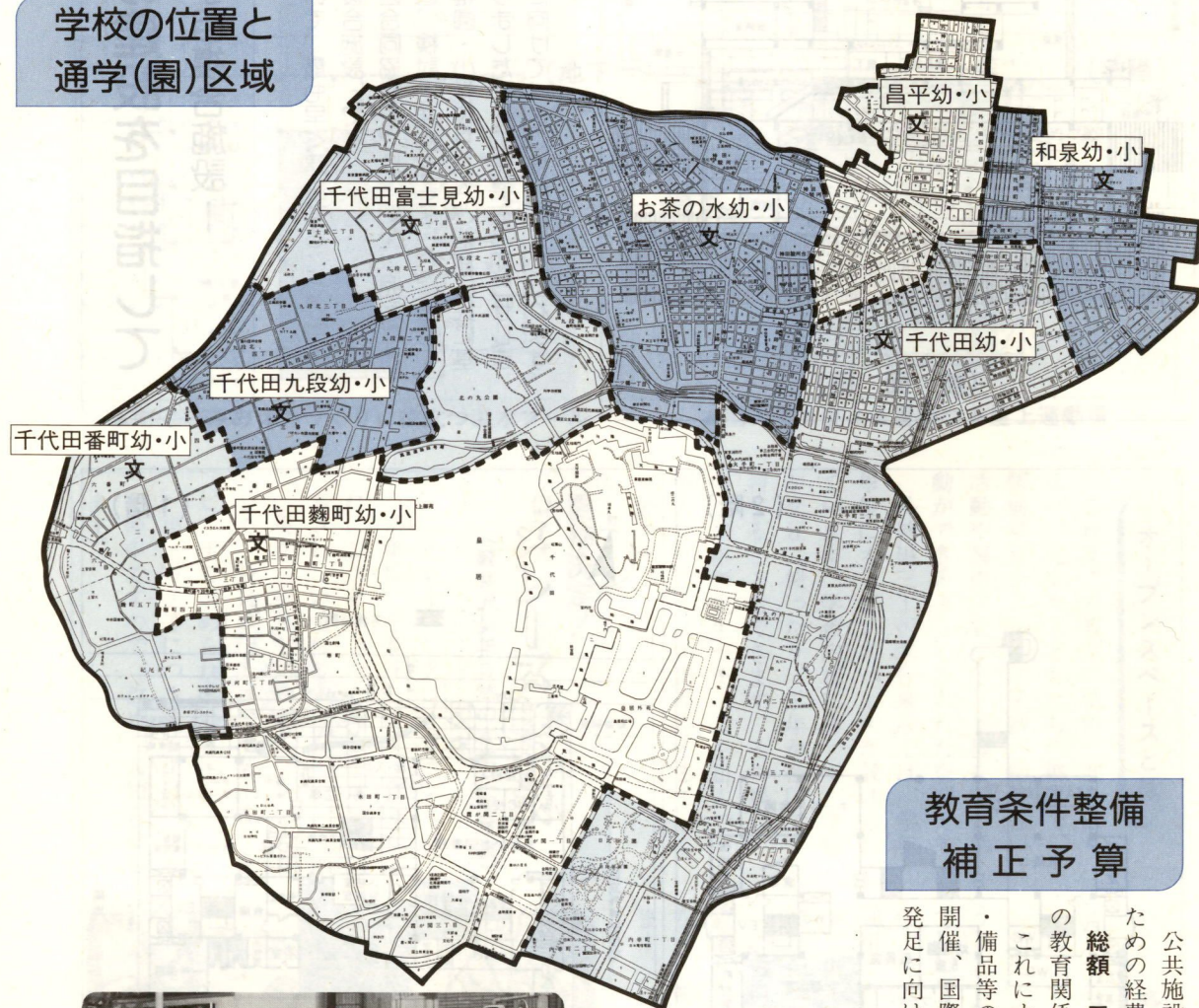
※千代田小学校・昌平小学校は、新校舎完成までの間、()内の所在地に設置します。

学校設置条例改正案が可決成立したことにより、「新たな小学校・幼稚園」の発足時期、小学校・幼稚園の数、各校・園の所在地が確定しました。

また、小学校・幼稚園の名称につきましては、公適配構想並びに教育条件整備の基本理念に基づき、「現在の校・園名は使用しない」ことを原則としてまいりました。各地域の協議会からご報告いただいた校・園名案の中には、現在の校・園名を使用したものが含まれており、各地域間の公平性を欠く結果となりました。このような状況を踏まえ、各地域における協議結果を最大限尊重する立場や、区議会における審議の経緯などに配慮し、校・園名にかかる原則については慎重にならざるを得ない状況になっております。このため、今後地域の事情により必要に応じて各協議会を中心に区民の皆さんに検討をお願いし、ご意見をいただく期間を設け、結論を得るよう努力する方針です。

区民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

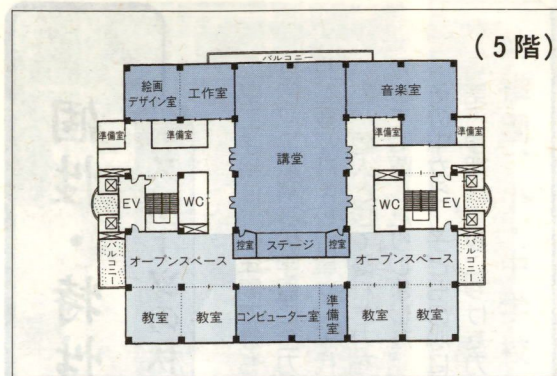
学校の位置と通学(園)区域



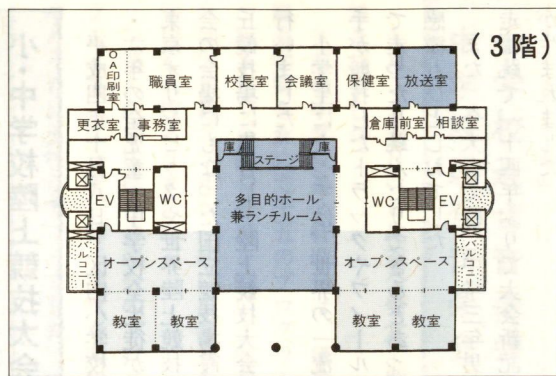
教育条件整備補正予算

公共施設適正配置構想を推進するための経費として、
総額 三億八、六二五万六千円の教育関係補正予算が決められました。これにより、記念誌の発行や物品・備品等の移転、あるいは協議会の開催、国際化対応など、新たな学校発足に向けての諸準備を行います。

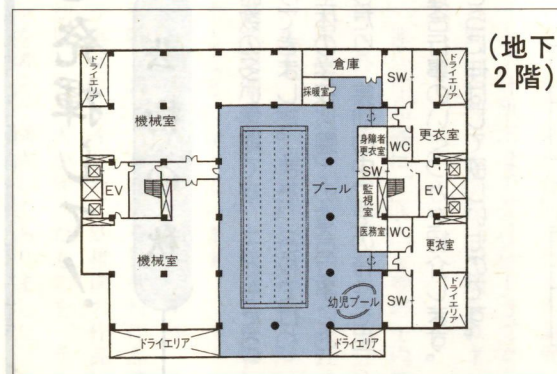




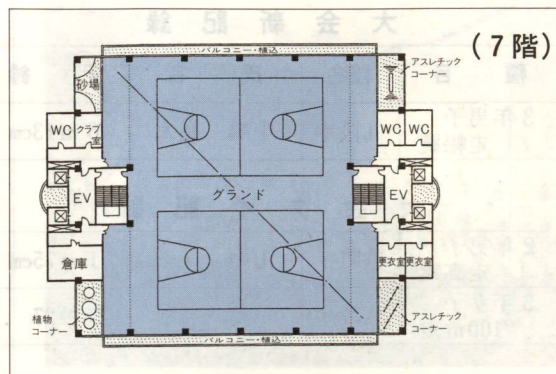
▲小学校高学年の教室、講堂、特別教室



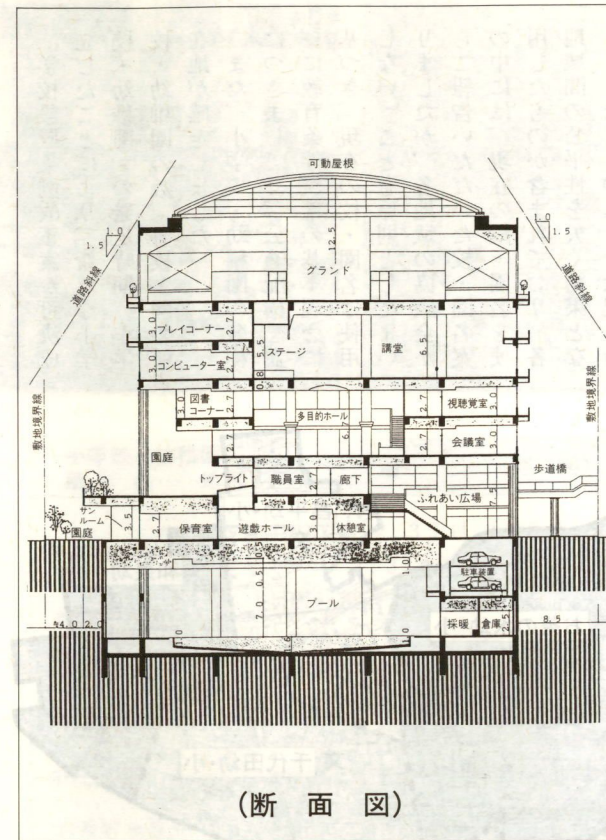
▲オープンスペースをもつ小学校教室、多目的ホール



▲町ぐるみの体力づくりに役立つ温水プール



▲雨天でも使える屋根つき屋上運動場



公共施設適正配置構想に基づいて、最も早く建設することが予定されているのは「外神田三丁目複合施設」です。
これまで、淡路地区・芳林地区合同協議会では、幼児・児童にとつて最善の施設を作り上げようと、検討を進めてきました。その中間報告として、去る十一月、幼稚園・小学校PTAと地域住民に基本設計計画についての説明がありました。その概要をお知らせします。今後、よりよい施設づくりに向けて、更に検討が進められます。

よりよい施設の建設を目指して — 外神田三丁目複合施設 —

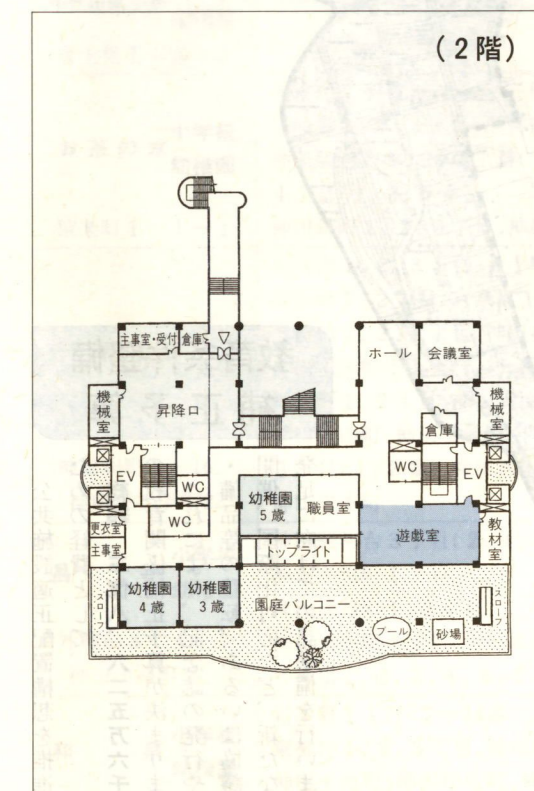
**愛称決定！
『メリーズ軽井沢』**
(軽井沢少年自然の家第二期施設)
「メリーズ」とは、フランス語で「落葉松」を意味します。落葉松の林にひっそりとたたずむこの施設にふさわしい愛称です。
現在、四月下旬のオープンをめざして、最後の仕上げの内装工事が急ピッチで進められています。
申込方法等につきましては、現在準備中ですので、改めてお知らせします。



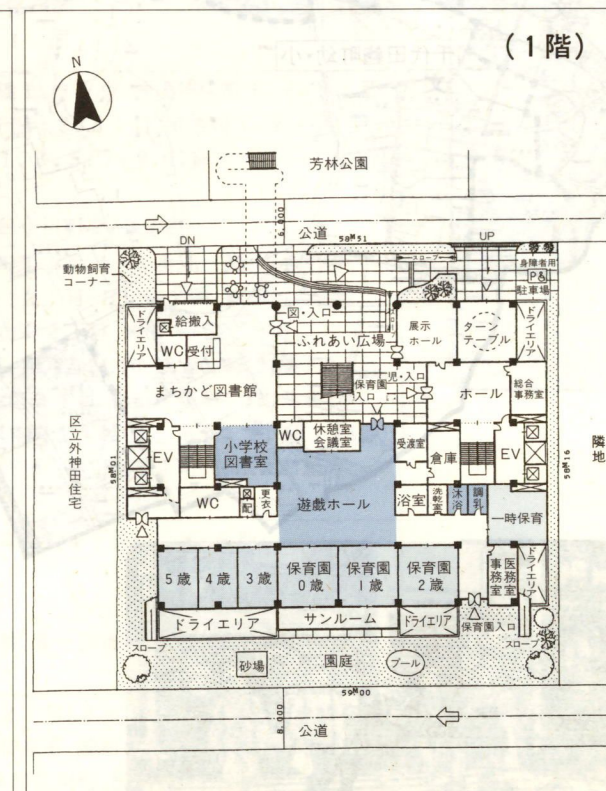
▲内装工事が着々と進むコテージ棟

オープンスペースとは
これまでの教室の壁の一部を取り払い、先生や子どもたちの創意で、個別学習やグループ学習、話し合い活動や製作活動など、多様な学習活動ができるように作られた空間です。
外神田三丁目複合施設では、学年単位にオープンスペースが設けられています。学習内容によって、学級が交互に使ったり、学年が合同で学習することもできます。その場合、同じ学年の先生がチームを組んで、個人やグループの指導をすることも可能です。

多目的ホールとは
その名の通り、様々な活動に使うことができる空間です。
幼児・児童にとっては、年齢の違う子ども同士の交流の場にもなりますし、学年・学級単位の集会、会食、学芸発表、音楽会、展示などの場にも利用できます。また、講堂との併用を工夫すれば、全校児童の遊び場、展示会場などに利用できます。
さらに、生涯学習の施設として開放された場合には、多人数の会議場など、幅広い利用の仕方が考えられます。



▲3歳～5歳児の交流もスムーズな幼稚園



▲複合施設の特徴を示す玄関、保育園、まちかど図書館

個性・特性を發揮して！

スポーツの秋

芸術の秋

第二学期は、一年間で最も授業時数の多い学期です。子どもたちは日々の教科等の学習に全力を傾けてきました。また、各校で行われた様々な学校行事や、千代田区全体の学校（園）の連合行事において、個人として優れた力を発揮したり、集団の中でその特性を生かして活躍したりしました。

その中から、子どもの心に残る連合行事のいくつかを紹介します。第二学期は、身につけた力を、さらに伸ばして欲しいものです。

小・中学校陸上競技大会

平成四年十月八日、区内小学校五・六年の全児童、中学校全生徒が、東京オリンピックや世界陸上競技大会の会場にもなった国立競技場霞ヶ丘競技場に集結し、陸上競技大会を行いました。

小学生にとっては、世界の一流選手が競技したトラックやフィールドで走ったり跳んだりできるとあって、感激もひとしおでした。

また、今大会では、中学三年男子走幅跳で、十四年ぶりで大会新記録が生まれました。

大会新記録

種目	校名	氏名	記録
3年男子走幅跳	九段中	中嶋 亮太	6 m 13 cm

大会タイ記録

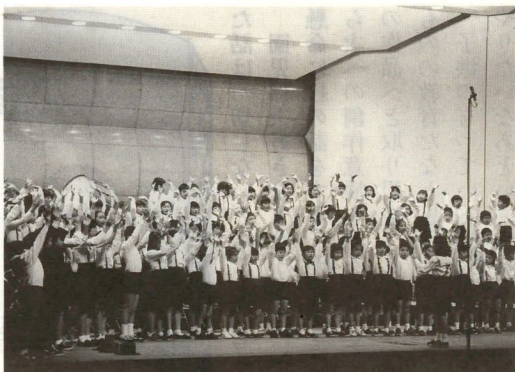
2年男子走高跳	麴町中	山中 一	1 m 75 cm
3年女子100m走	九段中	早崎 幸	13秒27

小学校連合音楽会 中学校連合音楽会

十月二十七日、日比谷公会堂で開催されました。

午前の小学校連合音楽会は、鎌倉臨海学園を含めて十五のプログラムが組まれ、合唱や合奏を行いました。今回は複数の学年が一緒に出演した学校も八校ありました。

午後の中学校連合音楽会のプログラムは第一部合唱、第二部吹奏楽で、それぞれに五校が参加しました。



▲全校児童の歌声がひびく(淡路小)



▲「夏の思い出」を全員で合唱(中学校)

幼稚園、小・中学校 連合作品展



幼・小・中が合同で行う作品展は、十一月十九日より二十一日までの三日間、西神田小学校で開催されました。

連合作品展は、区内を麴町・内神田・外神田の三つのブロックに分け、三年で一回りするように運営されています。中学校だけは、どのブロックで開催されても、五校全部が参加することになっています。

今回も優れた絵、図案、工作、焼き物、習字、家庭科や技術科作品等が展示されました。幼稚園の作品は、幼児一人一人が作ったものを、テーマを考えて構成してありました。



▲「わたしもこれ作りたいな！」

小学校連合学芸会

十一月十七日、千代田公会堂で開催されました。今年で四十六回という伝統のあるもので、十四校全校が参加しました。

三年生、四年生の出演が多く、各校がありました。複数学年で参加した学校が二校でした。すべて低・中学年ですが、童話劇あり、民話劇や生活劇、ミュージカルありで、大熱演でした。

堂々と入場



▲こんなに大きなジャガイモがとれました



▲ミュージカル「ピーター・パンの冒険」(番町小)

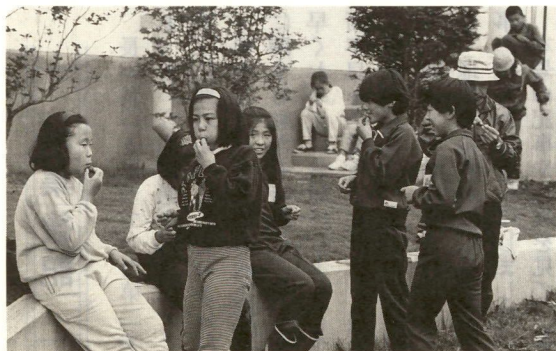
うれしい収穫

婦恋自然体験交流教室 春訪れた五年生が、再び婦恋村をたずね、農業体験や、婦恋村の学校との交流を行いました。

今回の農業体験は、春に自分たちで植えたジャガイモの収穫が中心でした。

夏の間の世話は婦恋村の方々にしていたのですが、土の中から出てくる大きなジャガイモを手にして、歓声を上げていました。

交流校の友だちにトチの実の笛作りを教わった学校もありました。



▲トチの実で笛づくり(千俣小にて)

随想

きょういく

○ 子どもの心から

お母ちゃんは100点もらって
くるとにこにこしている
100点でないとおっかない顔
をしている

お母ちゃんは100点とお金がいじ

なんだなあと思った (小女)

子供の目の鋭さに驚かされる。ただ、親子関係が勉強のことだけでは何とも寒々しい。

幼児、児童期は感性の最も豊かに伸びる時である。美しいものを美しいと感じる心を、そして、人間に与えられた特性である好奇心、向上心を大事にして、その芽を育て知、情意すべてにわたってすすくと伸びるように心をそそぎたい。

通信簿もって帰ってきた お母ちゃんに叱られるなど思ってたお母ちゃんに「算数は3かだめやなあ」と言った ぼくはお母ちゃんがかいそうだなあと思った 「お母ちゃん 音楽、図工、体育は4やで」と言った お母ちゃんは「そんなものどうでもいいや」と言った(小男)
何とも言いようのない詩で悲しいこの子の豊かで温かい心はしほん

でしまい、やる気もいっぺんに消しとんでしまうのではないか。

「ねむの木学園(肢体不自由児養護施設)」の宮城まり子園長は、園児が絵をかきあげると「この絵のお話を聞かせて」と言うだけで絵のうまい、へた、色はこうしたらいい

家庭教育に思う



前 麴町小学校校長
同 幼稚園長
黒 部 光 雄

た話は一切しないとのことである。

園児は大好きなまり子園長に一所懸命に絵の話をする。園児はそこから次への創作意欲を湧きたたせ、次の作品へと取り組む。これが、ほんものの教育だなと思う。

子供のもっている探究心、何かをやりたいなあというやる気を、私た

ちは宮城まり子さんのように援助し支援し、大事に育ててやることが一番大切なんだと思う。

○ 子どもの心を

「見えるかと母はわが子のたけになり」の歌に象徴されるように、今、この子は何に悩み、何を欲し、何にむかっているのかを、親が日々の生活の中からつかむことから家庭教育は始まるのだと思う。

姉と僕 替わればよいと母は言う
馬鹿にするなよ俺は俺だ (中男)

欠点は自分が一番悩んでるそこをつくと母は鬼です (中女)

子供を認め、励まし、共に感じ、喜び、悩む、親の姿勢が子供の成長をうながすのだと思う。

次の詩は愛情と信頼を基盤とした温かい親子関係を如実に示している。
お母さんが「気をつけてね」と言った ぼくは「ハイ行つてきます」といった お母ちゃんの声がついてきた
学校までついてきた(小男)

くろべ みつお
全日本家庭教育研究会
東京本部教育対話室

随想

編集後記

長い長いと思っていた第二学期も、あっという間に過ぎ去り、まともの第三学期に入ってしまった。

第七号は、公共施設適正配置構想に関する動きを特集し、できるだけ早くお手元にお届けしようと考え、新年早々の発行となりました。

表紙の写真は、多くの候補の中から、年末・年始にふさわしく、しかも、地域の特性がにじみ出ている行事の「もちつき」にしました。

本号の記事や写真を見て、家庭での親子の話題が広がればと思っております。

「冬来りなば春遠からじ」と申します。六十日ほどしかない第三学期を、充実した日々にしたいものです。「かけはし」についての皆様のご意見・ご感想・ご要望を、ぜひお寄せください。お待ちしております。

教育広報「かけはし」第七号
平成5年1月8日発行
編集発行／千代田区教育委員会
〒102 千代田区九段南1-6-11
☎(03)640151 内3114